

エコアクション21

環境活動レポート

運用期間

2022年4月～2023年3月

2023年07月07日発行

対象範囲 本社・事務所、川崎支店、
日立那珂支店、太田支店



豊かな自然を未来へ引き継ぐ。

KIC

黒田興業株式会社

目次

1	組織概要	1
2	対象範囲	3
3	機械の処理能力	3
4	関連許認可・許可品目	4
5	中間処理フロー	5
6	実施体制	6
7	組織図	7
8	環境経営方針	8
9	環境経営目標	9
10	環境経営目標に対する実績と評価	13
11	環境経営活動計画に対する評価及び 次年度の取組内容	17
12	環境関連法規等取りまとめ	19
13	代表者による全体評価と見直し	21

1. 組織概要

- ① 事業者名及び代表者名
黒田興業株式会社 代表取締役 黒田 知憲
- ② 事業内容
金属スクラップの購入、金属スクラップの加工、加工後の金属原料の販売、産業廃棄物処理業（収集・運搬、中間処理）
- ③ 所在地
- | | |
|--------|---|
| 本社・事務所 | 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目20番3号
TEL 03-6455-3472 FAX 03-6455-3473
URL http://www.r-kic.co.jp/ |
| 川崎支店 | 〒210-0852 神奈川県川崎市川崎区鋼管通5-6-1
TEL 044-366-3111 FAX 044-366-0442 |
| 日立那珂支店 | 〒311-0102 茨城県那珂市向山1225-2
TEL 029-295-2012 FAX 029-295-5409 |
| 太田支店 | 〒373-0826 群馬県太田市古戸町1244
TEL 0276-38-0570 FAX 0276-38-5635 |
- ④ 事業規模
- | | |
|-------------|----------------|
| 法人設立年月日 | 昭和22年9月23日 |
| 資本金 | 4,000万円 |
| 売上高（全社） | 5320百万円（令和4年度） |
| 売上高（川崎支店） | 1708百万円（令和4年度） |
| 売上高（日立那珂支店） | 2077百万円（令和4年度） |
| 売上高（太田支店） | 1535百万円（令和4年度） |
| 従業員数 | 60人（令和5年6月末現在） |
| 敷地面積 | 27,986㎡（全社） |
| 内訳 | 本社 109㎡ |
| | 川崎 5,716㎡ |
| | 太田 10,140㎡ |
| | 那珂 12,021㎡ |
- ⑤ 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
- | | |
|---------|--------------------------------------|
| 環境管理責任者 | 古屋敷 正人 |
| 連絡先 | TEL 03-6455-3472
FAX 03-6455-3473 |

⑥ 設備一覧（対象事業所 川崎支店、日立那珂支店、太田支店）

＜川崎支店＞

加工処理機械	オートマチックプレス機 1基 1,000 t マウントシャー 1基 1,250 t ギロチンシャー 1基 4.5t天井クレーン(リフマグ) 1基 7.5t天井クレーン(リフマグ) 1基 7.5/7.5t天井クレーン(リフマグ・クラブ) 1基
重機	ショベルローダー 1台 油圧ショベル 2台
運搬車両	10 t 車 1台 ユニック 8 t 車 1台 4 t 車 1台 アームロール 計3台

＜日立那珂支店＞

加工処理機械	1,250馬力乾式シュレッダー 1基 400馬力プレシュレッダー 1基 12t天井クレーン(リフマグ) 1基 10t/5t天井クレーン(リフマグ・クラブ) 1基 200馬力800 t マウントシャー
重機	ショベルローダー 2台 油圧ショベル 2台 フォークリフト 2台
運搬車両	15 t 車 1台 ヒアブ 8 t 車 1台 ヒアブ 4 t 車 1台 ヒアブ トレーラー 1台 15t車 1台 平ボディ 8 t 車 1台 4 t 車 1台 アームロール 4 t 車 1台 計8台

＜太田支店＞

加工処理機械	100馬力オートマチックプレス 1基 150馬力オートマチックプレス 1基 200馬力800tマウントシャー 1基 7.5/7.5t天井クレーン(リフマグ・クラブ) 1基 10t天井クレーン(リフマグ) 1基 7.5t天井クレーン(リフマグ) 1基 4.95t/4.95t天井クレーン(リフマグ・クラブ) 1基
重機	ショベルローダー 2台 油圧ショベル 2台 フォークリフト 1台
運搬車両	4 t 車 3台 7 t 車 2台 6 t 車 1台 8 t 車 2台 9 t 車 1台 11 t 車 1台 12 t 車 1台 トレーラー 1台 計12台

- ⑦ 処理料金
 金属は基本的に有価になります。産業廃棄物は処理料金を頂きます。金額については種類、量、形態によって異なります。

⑧ 事業の規模（全社）

活動規模	単位	年度		
		2020年	2021年	2022年
売上高	百万円	3,184	5,795	5,320
従業員	人	57	61	60
敷地面積	m ²	27,986	27,986	27,986
金属スクラップ購入量	t	89,208	95,594	95,594
産業廃棄物収集運搬量	t	678	1,079	1,080
産業廃棄物中間処理量	t	4,661	4,555	4,012

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

◆対象事業所

本社・事務所	東京都渋谷区道玄坂一丁目20番3号
川崎支店	神奈川県川崎市川崎区鋼管通5-6-1
日立那珂支店	茨城県那珂市向山1225-2
太田支店	群馬県太田市古戸町1244

3. 機械の処理能力（中間処理業の能力）

川崎支店

品目	処理機械	処理方法	処理能力
廃プラスチック類	1,250 t ギロチンシャー	破砕処理	20t/日
ガラスくず	1,250 t ギロチンシャー	破砕処理	90t/日
金属くず	1,250 t ギロチンシャー	破砕処理	198t/日
金属くず	オートマチックプレス機	圧縮処理	12.2t/日

日立那珂支店

品目	処理機械	処理方法	処理能力
金属くず、廃プラスチック類 金属くず	1,250馬力乾式シュレッダー	破砕処理	240t/日

太田支店

品目	処理機械	処理方法	処理能力
廃プラスチック類	800 t マウントシャー	切断処理	11.2t/日
ゴムくず	800 t マウントシャー	切断処理	18.8t/日
金属くず	800 t マウントシャー	切断処理	118.4t/日
ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず	800 t マウントシャー	切断処理	45.6t/日
金属くず	オートマチックプレス機	圧縮処理	67.8t/日

4. 関連許認可・許可品目

◆産業廃棄物処分量

都道府県・政令市	許可番号	取得日/ 有効期限	許可品目
川崎市	第5720038805号	1999/4/1 2024/5/31	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず 以上3種類
群馬県	第01020038805号	1998/5/18 2028/5/17	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上4種類
茨城県	第0821038805号	1997/4/24 2027/4/23	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上3種類

◆産業廃棄物収集運搬業

都道府県・政令市	許可番号	取得日/ 有効期限	許可品目
神奈川県	第1402038805号	1996/4/3 2026/4/2	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、鋳さい、がれき類 以上9種類
群馬県	第01000038805号	1998/3/17 2028/3/16	廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類 以上8種類
茨城県	第0801038805号	1997/5/22 2027/5/21	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上3種類
埼玉県	第01104038805号	1998/4/1 2028/3/31	廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類 以上8種類
栃木県	第0900038805号	2003/5/1 2028/4/30	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず以上4種類
千葉県	第1200038805号	1999/7/15 2025/7/14	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上3種類
東京都	第1300038805号	2002/4/1 2027/3/31	廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリート・陶磁器くず、がれき類 以上7種類

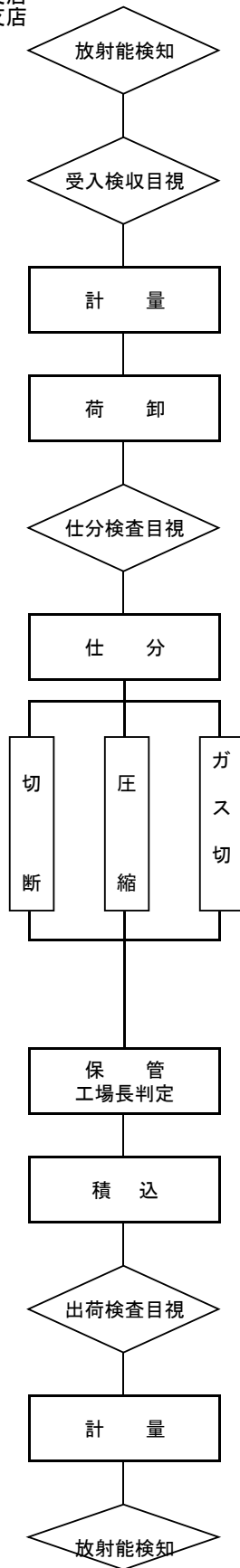
◆破砕業(自動車リサイクル) 茨城県 第20085002198号 取得2004/7/1 期限2024/6/30

◆古物商 神奈川県 第452510500038号 取得1993/8/25

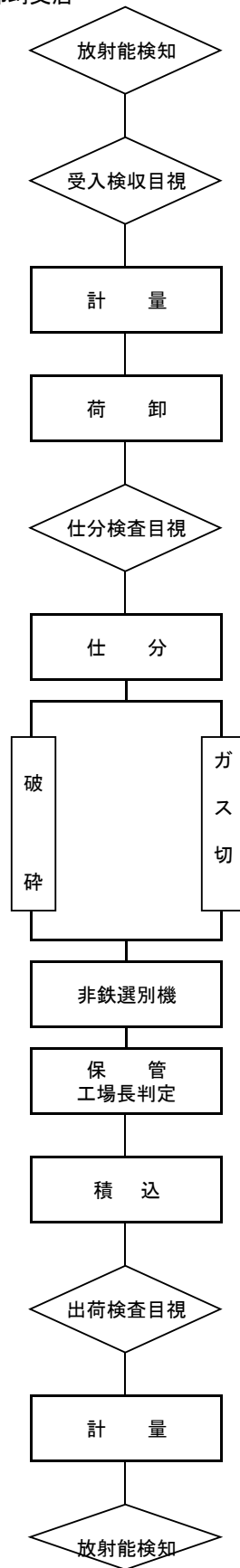
◆第一種フロン類回収業者 茨城県 第12460号 取得2004/7/1 期限2027/6/22

5. 中間処理フロー

川崎支店
太田支店

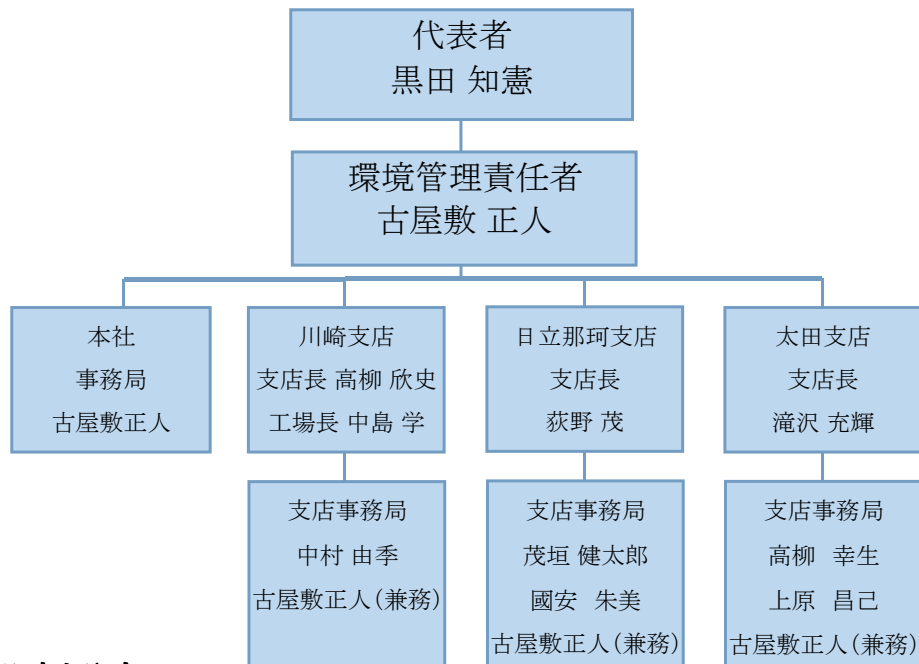


日立那珂支店



6. 実施体制

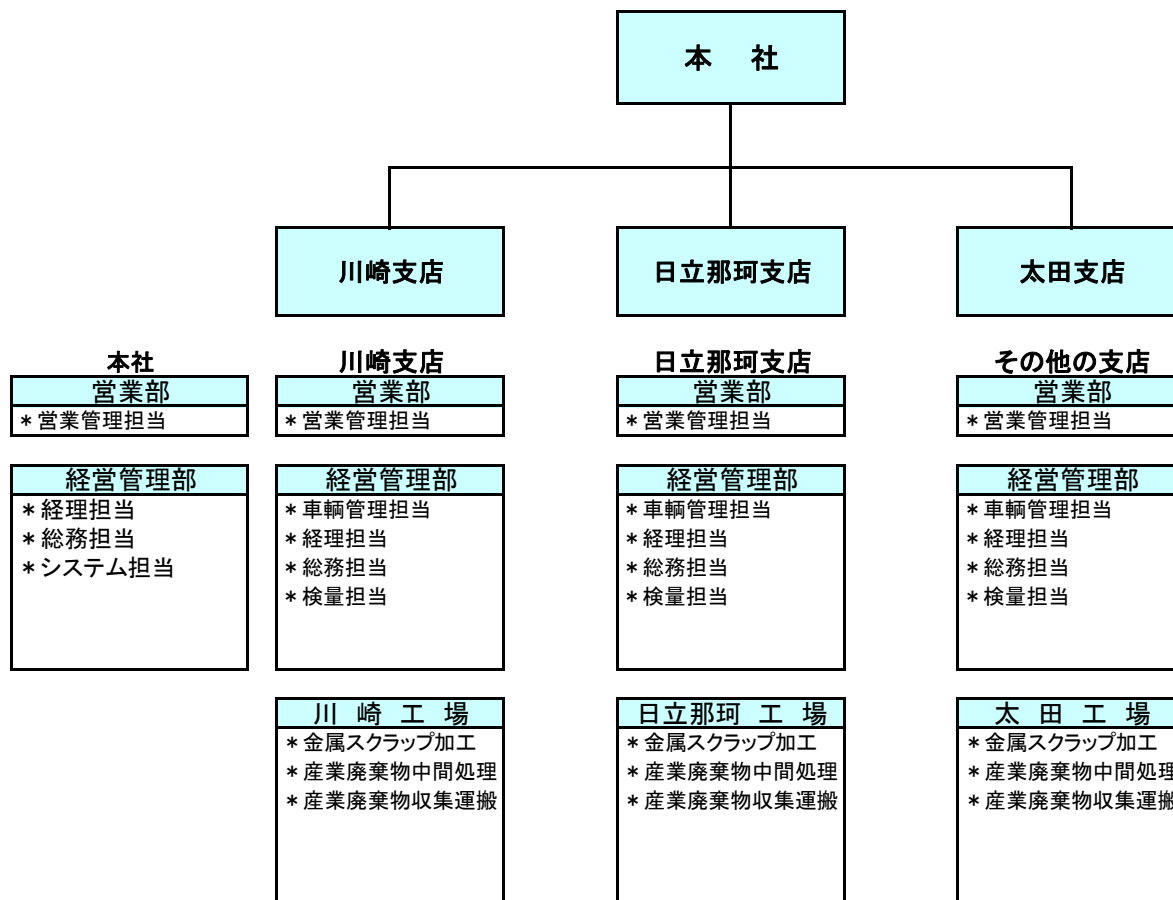
黒田興業株式会社 エコアクション21組織図



役割分担

組織名称	役割、責任
代表者	環境管理責任者の任命 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の決定 環境経営システムの構築・実施及び管理に必要な資源の準備 環境経営システムの定期的見直しの実施 環境経営目標及び環境経営計画の承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築・実施・管理の継続的改善 環境経営システムの代表者への報告 環境経営目標及び環境活動計画の策定 環境関連文書の記録作成、管理 関連法規の取りまとめ表の維持
各事務局 (事務責任者)	環境管理責任者の補佐 環境経営システムに関する事務、記録作成 関連法規の順守状況の確認
本社 営業部員・ 経営管理部員	本社における環境経営システム活動に参加 環境経営目標のための活動(コピー用紙削減、エコドライブ、グリーン購入)を実施する
各支店責任者	支店における環境活動の運用 環境経営目標の実施事項に対する問題点・是正処置を実施 支店における記録の作成と管理
各支店 営業部員・経営管 理部員 工場従業員	支店の環境経営システム活動に参加する 環境経営目標のための活動(省電力、産業廃棄物の分別、コピー用紙削減、エコドライブ、グリーン購入)を実施する

7. 組 織 図



8.環境経営方針

環 境 経 営 方 針

<基本理念>

「鉄の生命を繋ぐことは地球の生命を守ること」
を基本コンセプトに、全ての事業活動において、従業員一人一人が環境保全活動に
取り組み、環境を守ることが地域社会に貢献するという理念のもと、人と自然の豊かな
未来を目指します。

<環境保全への行動指針>

1. 環境に関する法規制を遵守致します。
2. 当社の事業活動が環境に影響を与える以下の項目に取り組みます。
 - ①省エネルギー推進
 - ②電気・水道・ガソリン等の使用量削減
 - ③グリーン調達の推進
3. 深刻なごみ問題に取り組む為、より繊細な廃棄物の分別およびリサイクルの推進経営に
取り組みます。
4. 全従業員がこの方針に従い、各事項に対し積極的に環境管理活動を展開します。
5. 全従業員に、この環境経営方針を周知徹底するとともに、自社のホームページに掲載
社会に公表いたします。

令和 元 年 10 月 1 日

黒田興業株式会社
代表取締役

黒田知憲

9. 環境経営目標 2022年度

当社の2022年度(2022年4月～2023年3月)における環境経営目標を以下に示す

原単位の算定にはヤードの仕入数量、本社は全社のヤード仕入数量を用いる

◆本社、川崎支店、那珂支店 目標

今季目標	2019年度より3%削減(産廃のみ2%)
中期目標	2019年度より3%削減

◆本社事務所 二酸化炭素排出量の低減(※ヤードの仕入数量当たり)

項目	対象	単位	2019年度	→	2022年度 目標	2023年度 参考	2024年度 参考
			基準値		基準値3%減	基準値4%減	基準値5%減
二酸化炭素排出量	本社事務所	kg-CO ₂ /t	0.0367	→	0.0356	0.0352	0.0349
電気使用量	本社事務所	kWh/t	0.0794	→	0.0770	0.0762	0.0754
ガス使用量	本社事務所	10 ⁻⁶ m ³ /t	9.533	→	9.247	9.152	9.056

※本社は全ヤードの仕入数量当たり計算する。

◆川崎支店 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの仕入数量当たり)

項目	対象	単位	2019年度	→	2022年度 目標	2023年度 参考	2024年度 参考
			基準値		基準値3%減	基準値4%減	基準値5%減
二酸化炭素排出量	川崎工場	kg-CO ₂ /t	8.715	→	8.454	8.366	8.279
電気使用量	川崎工場	kWh/t	16.300	→	15.811	15.648	15.485
ガソリン使用量	川崎工場	ℓ/t	0.0807	→	0.0783	0.0775	0.0767
軽油使用量	川崎工場	ℓ/t	0.926	→	0.898	0.889	0.880
ガス使用量	川崎工場	kg/t	0.0631	→	0.0612	0.0606	0.0599

◆日立那珂支店 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの仕入数量当たり)

項目	対象	単位	2019年度	→	2022年度 目標	2023年度 参考	2024年度 参考
			基準値		基準値3%減	基準値4%減	基準値5%減
二酸化炭素排出量	日立那珂工場	kg-CO2/t	21.423	→	20.781	20.566	20.352
電気使用量	日立那珂工場	kWh/t	39.389	→	38.207	37.813	37.420
ガソリン使用量	日立那珂工場	ℓ/t	0.0354	→	0.0344	0.0340	0.0336
軽油使用量	日立那珂工場	ℓ/t	2.650	→	2.571	2.544	2.518
ガス使用量	日立那珂工場	kg/t	0.0423	→	0.0410	0.0406	0.0402

◆太田支店 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの仕入数量当たり)

項目	対象	単位	2019年度	→	2022年度 目標	2023年度 参考	2024年度 参考
			基準値		基準値3%減	基準値4%減	基準値5%減
二酸化炭素排出量	太田工場	kg-CO2/t	12.101	→	11.738	11.617	11.496
電気使用量	太田工場	kWh/t	10.766	→	10.443	10.335	10.228
ガソリン使用量	太田工場	ℓ/t	0.0866	→	0.084	0.083	0.082
軽油使用量	太田工場	ℓ/t	3.025	→	2.934	2.904	2.874
ガス使用量	太田工場	kg/t	0.0559	→	0.0542	0.0537	0.0531

◆水使用量の低減（ヤードの仕入数量当たり）

項目	対象	単位	2019年度		2022年度 目標	2023年度 参考	2024年度 参考
			基準値		基準値3%減	基準値4%減	基準値5%減
水使用量	本社事務所	m ³ /t	0.000496	→	0.000481	0.000476	0.000471
	川崎工場	m ³ /t	0.0149	→	0.0144	0.0143	0.0142
	日立那珂工場	m ³ /t	0.1840	→	0.1785	0.1766	0.1748
	太田工場	m ³ /t	0.0141	→	0.0136	0.0135	0.0134

◆紙使用量（ヤードの仕入数量当たり）

項目	対象	単位	2019年度		2022年度 目標	2023年度 参考	2024年度 参考
			基準値		基準値3%減	基準値4%減	基準値5%減
プリンタ使用量	本社事務所	枚/t	0.2682	→	0.2602	0.2575	0.2548
	川崎工場	枚/t	1.1258	→	1.0920	1.0808	1.0695
	那珂工場	枚/t	1.0523	→	1.0208	1.0102	0.9997
	太田工場	枚/t	0.6380	→	0.6189	0.6125	0.6061

◆ 自社発生廃棄物の削減(ヤードの仕入数量当たり)

項目	対象	単位	2019年度	→	2022年度 目標	2023年度 参考	2024年度 参考
			基準値		基準値3%減	基準値4%減	基準値5%減
一般廃棄物処分量	本社事務所	kg/t	0.002782	→	0.002698	0.002671	0.002643
	川崎工場	kg/t	0.009991	→	0.009691	0.009591	0.009491
	那珂工場	kg/t	0.023504	→	0.022799	0.022564	0.022329
	太田工場	kg/t	0.009329	→	0.009049	0.008956	0.008863
項目	対象	単位	2020年度	→	2022年度 目標	2022年度 参考	2023年度 参考
			基準値		基準値2%減	基準値3%減	基準値4%減
産業廃棄物処分量	川崎工場	t/t	24.369	→	23.882	23.638	23.394
	那珂工場	t/t	88.980	→	87.200	86.311	85.421
	太田工場	t/t	8.873	→	8.695	8.607	8.518

◆ 産業廃棄物の収集運搬処分における環境配慮の目標

- ・粉塵を抑制
- ・放射性物質の混入防止
- ・騒音振動を測定

◆ 当社は化学物質の使用はありません。

10.環境経営目標に対する実績と評価

原単位の算定には本社は全社仕入数量を用い、工場はそれぞれのヤード数量を用いる

今期目標	2019年度より3%削減（産廃のみ2%）
中期目標	2019年度より3%削減

※二酸化炭素排出係数

本社 東京電力東京電力エナジーパートナー 2019年 調整後排出係数 0.462kg・CO₂/kWh
 その他 株式会社アイグリッドソリューションズ 2019年 調整後排出係数 0.365kg・CO₂/kWh

※3%減の値は緑で表示

◆サイトの仕入数量（ヤード仕入）

項目	サイト	単位	2020年	2021年	2022年
サイト仕入数量	川崎	t	30,890	37,495	32,200
サイト仕入数量	日立那珂	t	27,895	26,962	22,696
サイト仕入数量	太田	t	30,423	31,137	31,773
サイト仕入数量	全社	t	89,208	64,457	54,896

◆本社事務所 二酸化炭素排出量の低減（ヤードの仕入数量当たり）

赤は未達

項目	対象	単位	2019年	2022年	単位	基準値	2022年度	2022年	達成率	評価
			実績	実績		原単位	目標	実績		
二酸化炭素排出量	本社事務所	kg-CO ₂	3,847	4,101	kg-CO ₂ /t	0.0367	0.0356	0.0747	48%	×
電気使用量	本社事務所	kWh	8,327	8,873	kWh/t	0.0794	0.0770	0.1616	48%	×
都市ガス使用量	本社事務所	m ³	1.0	1.0	10 ⁻⁶ m ³ /t	9.533	9.2470	18.216	51%	×

基準年より扱い数量が減っているのに総量が減っていない為未達になってしまった。

◆川崎支店 二酸化炭素排出量の低減（ヤードの仕入数量当たり）

赤は未達

項目	対象	単位	2019年	2022年	単位	基準値	2022年度	2022年	達成率	評価
			実績	実績		原単位	目標	実績		
二酸化炭素排出量	川崎工場	kg-CO ₂	357,986	345,339	kg-CO ₂ /t	8.715	8.454	10.725	79%	×
電気使用量	川崎工場	kWh	669,555	626,263	kWh/t	16.300	15.811	19.449	81%	×
ガソリン使用量	川崎工場	ℓ	3,315	1,998	ℓ/t	0.0807	0.0783	0.0620	126%	○
軽油使用量	川崎工場	ℓ	38,037	40,608	ℓ/t	0.926	0.898	1.261	71%	×
ガス使用量	川崎工場	kg	2,591	2,450	kg/t	0.0631	0.0612	0.0760	81%	×

基準年より扱い数量が減っているのに総量が減っていない為未達になってしまった。ガソリンは使用量が減った為改善された。

◆日立那珂支店 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの仕入数量当たり)

赤は未達

項目	対象	単位	2019年実績	2022年実績	単位	基準値	2022年度目標	2022年実績	達成率	評価
			総量	総量		原単位	基準値3%減	原単位		
二酸化炭素排出量	那珂工場	kg-CO2	639,038	572,181	kg-CO2/t	21.423	20.781	25.211	82%	×
電気使用量	那珂工場	kWh	1,174,926	898,479	kWh/t	39.389	38.207	39.588	97%	×
ガソリン使用量	那珂工場	ℓ	1,056	1,432	ℓ/t	0.0354	0.0344	0.0631	55%	×
軽油使用量	那珂工場	ℓ	79,052	95,577	ℓ/t	2.650	2.571	4.211	61%	×
ガス使用量	那珂工場	kg	1,262	600	kg/t	0.0423	0.0410	0.0264	155%	○

概ね扱い数量減による未達であった。CO2に大きく影響する電気量は基準年に比べ大幅に落ちている。

◆太田支店 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの仕入数量当たり)

赤は未達

項目	対象	単位	2019年実績	2022年実績	単位	基準値	2022年度目標	2022年実績	達成率	評価
			総量	総量		原単位	基準値3%減	原単位		
二酸化炭素排出量	太田工場	kg-CO2	411,404	436,416	kg-CO2/t	12.101	11.738	13.735	85%	×
電気使用量	太田工場	kWh	365,999	382,911	kWh/t	10.766	10.443	12.052	87%	×
ガソリン使用量	太田工場	ℓ	2,944	3,299	ℓ/t	0.0866	0.084	0.104	81%	×
軽油使用量	太田工場	ℓ	102,825	109,690	ℓ/t	3.025	2.934	3.452	85%	×
ガス使用量	太田工場	kg	1,899	2,000	kg/t	0.0559	0.0542	0.0629	86%	×

基準年に比べギロチン加工量が増えて扱い数量が同じでも電気量が増えたようである。

◆全社 二酸化炭素排出量の実績 次年度より活用

赤は未達

項目	対象	単位	2019年実績	2022年実績	単位	基準値	2022年度目標	2022年実績	達成率	評価
			総量	総量		原単位	基準値3%減	原単位		
二酸化炭素排出量 全社まとめ	本社事務所	kg-CO2	3,847	4,101	kg-CO2/t	0.0367	0.0356	0.0747	48%	×
	川崎工場	kg-CO2	357,986	345,339	kg-CO2/t	8.715	8.454	10.725	79%	×
	那珂工場	kg-CO2	639,038	572,181	kg-CO2/t	21.423	20.781	25.211	82%	×
	太田工場	kg-CO2	411,404	436,416	kg-CO2/t	12.101	11.738	13.735	85%	×
	合計	kg-CO2	1,412,275	1,358,037	kg-CO2/t	13.463	13.0588	24.738	53%	×

合計欄は各支店総量の合計を各支店の仕入数量の合計で除している。

全体で未達になっている。やはり扱い数量が下がった事で1t当たりの効率が悪くなってしまっている。

◆水使用量の低減（ヤードの仕入数量当たり）

赤は未達

項目	対象	2019年実績		2022年実績		基準値		2022年度目標		達成率	評価
		単位	総量	総量	単位	原単位	基準値3%減	原単位			
水使用量	本社事務所	m ³	52	44	m ³ /t	0.000496	0.000481	0.000800	60%	×	
	川崎工場	m ³	610	642	m ³ /t	0.0149	0.0144	0.0199	72%	×	
	那珂工場	m ³	5,490	1,505	m ³ /t	0.1840	0.1785	0.0663	269%	○	
	太田工場	m ³	478	561	m ³ /t	0.0141	0.0136	0.0177	77%	×	
	合計	枚	6,630	2,752	m ³ /t	0.0632	0.0613	0.0501	122%	○	

合計欄は各支店総量の合計を各支店の仕入数量の合計で除している。

那珂工場が大幅に改善している。基準年に漏水があった為大幅に改善したようである。

太田工場の機械故障が起こり水使用量が多くなってしまった。機械の稼働時間が増えた事、散水が増えた為使用量が増えた

◆紙使用量（ヤードの仕入数量当たり）

赤は未達

項目	対象	2019年実績		2022年実績		基準値		2022年度目標		達成率	評価
		単位	総量	総量	単位	原単位	基準値3%減	原単位			
プリンタ使用量	本社事務所	枚	28,139	24,622	枚/t	0.2682	0.2602	0.4485	58%	×	
	川崎工場	枚	46,245	25,237	枚/t	1.1258	1.0920	0.7838	139%	○	
	那珂工場	枚	31,390	29,466	枚/t	1.0523	1.0208	1.298	79%	×	
	太田工場	枚	21,691	20,126	枚/t	0.6380	0.6189	0.633	98%	×	
	合計	枚	127,465	99,451	枚/t	1.2151	1.1786	1.8116	65%	×	

合計欄は各支店総量の合計を各支店の仕入数量の合計で除している。

リモート会議が普及した、外部への見積り書等PDFによりペーパーレス化が進んだ事が影響した。

◆自社排出廃棄物の削減(ヤードの仕入数量当たり)

赤は未達

項目	対象	単位	2019年実績	2022年実績	単位	基準値	2022年度目標	2022年実績	達成率	評価
			総量	総量		原単位	基準値3%減	原単位		
一般廃棄物処分量	本社事務所	kg	291.8	291.4	kg/t	0.002782	0.002699	0.005308	51%	×
	川崎工場	kg	410.4	410.4	kg/t	0.009991	0.009691	0.012745	76%	×
	那珂工場	kg	701.1	829.4	kg/t	0.023504	0.022799	0.036544	62%	×
	太田工場	kg	317.2	421.2	kg/t	0.009329	0.009049	0.013257	68%	×
	合計	kg	1,720.5	1,952.4	kg/t	0.016401	0.015909	0.03557	44.7%	×
			2,020年実績	2022年実績		基準値	2022年度目標	2022年実績		評価
		単位	総量	総量	単位	原単位	基準値2%減	原単位	達成率	
産業廃棄物処分量	川崎工場	t	1,001	997	kg/t	24.369	23.882	30.963	77%	×
	那珂工場	t	2,654	1,514	kg/t	88.980	87.200	66.708	131%	○
	太田工場	t	302	257	kg/t	8.873	8.695	8.089	107%	○
	合計	t	4,663	2,768	t/t	0.05227	0.051	0.05042	102%	○

合計欄は各支店総量の合計を各支店の仕入数量の合計で除している。

一般廃棄物に関しては原単位の数量減が大きく響いている。
 産業廃棄物は全体では達成されているが、川崎が仕入の量に対して廃棄物の量が前年と横這いな為未達になった。
 仕入する母材に付着物が多くなっているのが原因であると考え。

11.環境経営活動の評価及び次年度の取組内容(環境経営活動計画見直し)

項目	実施内容(手段)	担当者	評価	備考	次年度取組
二酸化炭素排出削減 ギロチンシャー(電力)	負荷を考慮し厚さ5cm以上は掛けないように目視徹底	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 マウントシャー(電力)	負荷を考慮し厚さ5cm以上は掛けないように目視徹底	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 天井クレーン(電力)	目視による重量物の判断。 マグネットで無理なら玉掛け	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 スクラッププレス(電力)	投入物の目視徹底、フィルター清掃	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 乾式シュレッダー(電力)	投入物の目視徹底	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 油圧ショベル(軽油)	低回転での作業、軽油の使用量管理	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 フォークリフト ショベルローダー(軽油)	急発進、エンジンのふかし禁止 軽油の使用量管理	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 営業車、トラック (ガソリン、軽油)	アイドリングストップ、エコドライブ 車両の点検・整備 ガソリン・軽油の使用量管理 エコドライブ配布資料	営業社員	○	実施されている	継続
二酸化炭素排出削減 事務所	観葉植物の栽培	古屋敷	○	順調に生育している	継続
二酸化炭素排出削減 事務所(電力)	エアコンの温度適正管理	古屋敷	○	温度計購入し監視した	継続
廃棄物の削減 分別の徹底 適切な処分	事務所 紙、缶、ペットボトルの分別徹底	古屋敷 支店長	○	実施されています。	継続
廃棄物の削減 分別の徹底 適切な処分	現場 鉄、非鉄、ダストの分別徹底	工場長	○	実施されています。	継続
水使用量の削減 節水	無駄にしないように周知徹底 標語等の表示、洗濯はまとめて行う	古屋敷	○	実施されている	継続
紙使用の削減 コピー用紙の削減	裏紙利用促進し徹底 印刷ミスをなくすように確認	古屋敷	○	実施されている	継続
グリーン購入の推進	エコマーク等、環境に配慮された製品を積極 購入する	古屋敷	○	実施されている	継続
製鋼原料の品質向上	持ち込まれた金属の分別を徹底する事で 外部にダスト付着物を出さず、 異物引きを抑える	支店長	○	実施されている	継続
生活環境の改善 粉塵の飛散防止	定期的に散水、床清掃機で粉塵が舞わないよう 元から断つ	支店長	○	実施されている	継続
生活環境の改善 振動、騒音	外壁による音の遮断、5時以降の運転を控える 騒音振動の自主測定による現状把握	古屋敷	○	川崎 2023/3/30 実施 那珂 2023/3/20 実施 太田 2023/2/15 実施	継続
生活環境の改善 廃油雨水の流出	油水分離槽の定期チェック及び、油流出時は 吸着マット等対応	支店長	○	実施されている	継続
生活環境の改善 火災爆発事故防止	消火器点検、危険物混入の目視チェック	支店長	○	川崎 2022/9/2 2023/3/30 実施 那珂 2022/6/4 実施 太田 2022/5/14 2022/11/26 実施	継続
生活環境の改善 放射性物質混入防止	L型ゲートモニターで監視、機械が反応した場合 ハンディタイプのメーターで混入物特定。 特定後適切に処理(返品等)	工場長	○	実施されている	継続
環境保全活動の指示	定期的なトレーニング、目的目標の周知 地域住民から苦情のないよう徹底する。	古屋敷 支店長	○	実施されている	継続

化学物質の取扱い無し

12. 環境関連法規等取りまとめ 順守状況の確認及び違反等の有無

当社に適用となる環境関連法規を以下にとりまとめます。
過去1年間違反、訴訟等はありませんでした。

川崎支店

名称	要求事項	実施方法	チェック者	遵守
川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例施行規則	騒音規制値 測定義務無し 自主的に測定	騒音振動 測定記録表	環境管理 責任者	2023.3.30 実施
	振動規制値 測定義務無し 自主的に測定	騒音振動 測定記録表	環境管理 責任者	2023.3.30 実施
川崎市規則 危険物の規制に関する 細則第15条	危険物施設を休止、再開する場合に7日前に届出が必要	現在休止中 2023年8月22日 再開の判断	支店長代理 工場長 環境管理 責任者	日付の 確認
浄化槽法	年1回の保守点検及び清掃 2か月点検の実施	点検表確認	工場長	点検表

日立那珂支店

名称	要求事項	実施方法	チェック者	遵守
那珂市環境基本計画 (騒音規制法 振動規制法 に準ずる)	騒音規制値 測定義務無し 自主的に測定	騒音振動 測定記録表	環境管理 責任者	2023.3.20 実施
	振動規制値 測定義務無し 自主的に測定	騒音振動 測定記録表	環境管理 責任者	2023.3.20 実施
使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	破砕業者の登録 5年毎の更新	期限 2024/6/30	環境管理 責任者	都度

太田支店

名称	要求事項	実施方法	チェック者	遵守
騒音規制基準 太田市告示第142号	騒音規制値 測定義務無し 自主的に測定	騒音振動 測定記録表	環境管理 責任者	2023.2.15 実施
振動規制基準 太田市告示第145号	振動規制値 測定義務無し 自主的に測定	騒音振動 測定記録表	環境管理 責任者	2023.2.15 実施

共通

名称	要求事項	実施方法	チェック者	遵守
フロン排出抑制法	3か月ごとの簡易点検の実施	点検記録確認	支店長	点検表
	第1種特定製品引取実施者(2020年4月より)	引取証明書 3年保管	支店長	-
	第1種フロン類引渡受託者 委託確認書の交付を受ける	委託確認書 3年保管	支店長	-
水質汚濁 防止法	油の漏洩の防止	油対応手順	工場長	点検表
	事故時の対応と報告			
グリーン 購入法	事業者の環境物品等の取組	グリーン製品の 積極購入	支店長	-
家電リサイクル法 (特定家庭用機器再商品化法)	家電リサイクル法の対象機器 ブラウン管・液晶・プラズマ式テレビ、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機、エアコン	受入れ時の 確認徹底	支店長	都度確認
	排出する時は、対象機器の再商品化等が確実に実施されるよう小売業者等に適切に引き渡し、収集・再商品化等に関する料金の支払いに応ずる	排出時の 確認徹底	支店長	都度確認
小型家電リサイクル法	小型家電リサイクル法の対象機器 施行令第1条に於ける28品目の受入れ除外 28品目は別表参照	受入れ時の 確認徹底	支店長	都度確認
	第7条 事業者は、その事業活動に伴って生じた使用済小型電子機器等を排出する場合にあっては、当該使用済小型電子機器等を分別して排出し、第十条第三項の認定を受けた者その他使用済小型電子機器等の収集若しくは運搬又は再資源化を適正に実施し得る者に引き渡すよう努めなければならない	排出時の 確認徹底	支店長	都度確認
電気事業法	電気事業法第42条第1項に規定する保安 規程の遵守義務 保安規定に則り定期点検を実施する	業者の実施結果 を保管する	工場長	点検表
古物営業法	第7条第1項 役員の変更 第7条第4項 許可証書換 役員の変更の際、14日以内に届出 履歴事項全部証明 住民票必要	届出	環境管理 責任者	順守確認
自動車NOx・PM法	八都県を走行するときにNOx・PMに係る適合 車で走行する	車検証にて確認	環境管理 責任者	順守確認

共通

名称	要求事項	実施方法	チェック者	遵守
廃棄物処理法	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	提出の確認 毎年6月頃	支店長代理	提出済
	廃棄物は自らの責任で適正に処理する	案件毎の マニフェスト表確認	支店長代理	順守確認
	廃棄物の委託基準等を順守する	許可の状況確認	支店長代理	順守確認
	保管場所に掲示板(60cmx60cm)を設置	設置状況の目視	支店長代理	順守確認
	委託先の許可証の確認	契約の都度確認	支店長代理	順守確認
	委託契約書の締結	契約の都度	支店長代理	順守確認
	廃棄物管理表(マニフェスト)の交付・保管・戻り 状況、保管状況の確認	案件毎の マニフェスト表確認	支店長代理	順守確認
	産業廃棄物保管場所の確認 積上げ高さ確認	定期的の確認	支店長代理	順守確認
	産業廃棄物 収集運搬業、処分業 許可期限確認	許認可確認表 にて随時確認	支店長代理	順守確認
	野焼き禁止、不法投棄の禁止	定期的な教育	支店長代理	順守確認
高圧ガス保安法	高圧ガスを貯蔵又は消費する者 災害が発生したとき又は容器を喪失し、又は盗まれた時は遅滞なくその旨を知事又は警察官に届ける	様式58号 一般 様式59号 LPG	支店長	都度

13.代表者による全体評価と見直し

実施日:2023.7.1

評価者:代表取締役 黒田知憲

項目	報告内容	代表者の評価コメント
環境経営方針	環境方針より 見直しの必要性	特に変更なし
実施体制	実施体制より 見直しの必要性	特に変更なし
環境経営目標	環境目標・実績より 結果の報告	今期目標2022年度より1%減 中期目標2022年度より3年で3%減
環境経営 計画	環境活動計画の内容より 内容報告	環境活動を行っている事を引 き続き社外にアピールする。
環境法規	環境関連法規等の順守状況 の確認及び違反等の有無より 結果の報告	法規関係は常に最新のもの にし違反の無いよう注意をす る
その他	-	-

代表者のコメント

扱い数量が減っている為未達項目が多くなっています。
 コロナ禍や円安の影響で2019年時と単純比較ができない状況です。
 昨年度を目標と設定する事によって現実的な目標になると考えます。